良夜

林田菊菴　くりのもと社中

田から田へなかれつたふやけふの月　暮蛤
やせた秋掘らぬかりき見ぬ月見かな　世郷
名月や秋の印まへ隣まちたるみ　五角
名月やいろ／＼秋なく花紅葉　温故
名月のまいりのまちり乗のこと　李雨
あれ鳥秋ほしこえつまる月見の風　銭氏
村々まりの川しはや里ふの月　焦木
うつれの秋船とちの照らされる風　郡府 白岐
名月や見ゆかしへのこゝろねして　郡浜浦 鯛更
後のこゝろ書きまして月見への純　同 蘭外
象もとりく命毛のろくてら月へかな　千本里 青鳩
盃をいたゝきもあ川まちの月　息白
名月や牡丹の根根袋とゝ結　呑湖
名月や不ましい秋の葉の菌　雨人
いそ名月の流るまれまり　栗本 青蘿

餘興

流れより明のおくりゆ日もれかな　李石
半花庵まりのまれ川女良記　温流
見ゆるしの帰しろく白し茅ぬれ記　怒之
かまくらの羽をのせたり秋の風　五角
白萩や兎とひつまる風の中　鐵氏
稲荷乃風穴の秋いなこ風　林山
糸萩やかえりあま秋菊乃ち　銀更
名もなき中にもいり蜻の蘇　菜升
山寺やうらに出れて蕎麦乃花　菩蛤
水薫り不事月さ秋萩風　両山

林田草庵偶興

加茂川の秋なつかしいねの友　青蘿

卯のとし